**令和５年度　校内研究計画**

　　　　　 菱山小学校

**１　学校課題**

　　　本校児童は４８名と小規模校のため、異学年との交流や全校での活動も盛んである。どの学年も少人数で個別の指導がいき届きやすく、授業中の全員発言や話し合い活動の充実などの取り組みを通して、自分の考えを発表したり、相手の考えを聞いたりする場面を多く取り入れた授業実践が行われている。

　　　しかし、少人数であるために低学年のうちから人間関係が固定化され、言葉を介さなくても互いの意思疎通ができてしまう、あるいは自分の思いを言葉でうまく表現できないことで誤解やトラブルが生じてしまうなどの実態は以前から見られている。引き続き、自分の考えや思いを正しく表現する力の向上や、コミュニケーション能力の育成が課題となっている　これらを踏まえ今年度も、昨年度までの研究で培ってきた「主体的・対話的で深い学び」につながる授業実践をさらに充実させ、様々な場面で自分の思いや考えを目的意識をもって表現できるために必要な資質・能力を育てていきたいと考える。

**２**　**研究主題**

|  |
| --- |
| **「主体的に学び、表現する児童の育成」**  ～効果的な言語活動を取り入れた授業改善を通して～ |

**３　主題設定の理由**

　 本校の学校教育目標は「自ら学ぶ　人間性豊かな　たくましい児童の育成」である。

めざす子ども像として「広い見方でよく考える子ども」「しっかりした体づくりがで

きる子ども」「やさしい心の子ども」「まじめに働く子ども」の４つが掲げられてい

る。「知・徳・体」の調和がとれた人間性豊かな児童の育成を具現化するために必要

な資質・能力として、自分の思いや考えを相手に伝わるよう表現する力をつけるとと

もに、相手の思いや考えを受け止め、互いを認め合う気持ちを養うことが大切である

と考える。そうすることで、「主体的に学び、表現する児童」が育つのではないかと

考えこの主題を設定した。

**４　研究内容と方法**

（１)研究内容

・言語活動や表現力についての理論研究　・授業実践および授業研究

　　 ・児童の実態と変容把握のためのアンケート

　　 ・児童の変容を見取るための評価の工夫　・Ｑ－Ｕ検査とＫ１３法の実施

　・「Teacher's　Note」「家庭教育/子育てＱ&Ａ」「家庭学習の手引き」の活用

　・自主学習、家庭学習スタンバイへの取り組み

　・学習規律・学習環境づくりのための日常的な取り組み

（２）研究方法

・全体研究会と部会研究会を取り入れた研究体制で行う。

・講師を招聘し、児童の実態に合った理論研究を行う。

・授業研究をし、授業公開を行う。

・アンケートや検査から児童の実態を把握し、具体的な指導法を研究する。

・「甲州市『確かな学力』育成プロジェクト」に関わる取り組みを検討・実施する。

・ICTを活用した校内研究会を行う。

**５　年間研修計画**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 回 | 月／日 | 主　な　内　容 | 担当 | TC要請 |  |
| １ | ４／１２ | ◇昨年度の研究について、今年度の方向性  ◇学校課題、研究主題、研究内容・方法、年間計　画等 | 研究主任 |  |  |
|  |  |
| ２ | ４／１９ | ◇今年度の研究計画  ◇総合教育センターにおける研修について | 研究主任 |  |
| ３ | ４／２６ | ◇甲州市「確かな学力」育成プロジェクトとの連　携について  ◇Teacher's　Noteの活用について | 研究主任 |  |
| ４ | ５／２４ | ◇学習アンケート（１回目）の実施について  ◇Ｋ－１３法を用いた分析について | 研究主任 |  |
| ５ | **６／　１** | ◇大和小合同学習会 | 研究主任 |  |
| ６ | **６／　６** | **◇理論研究** | 研究主任 |  |  |
|  |
| ７ | ６／　７ | ◇Ｋ－１３法を用いた分析（Ⅰ） | 各学年 |  |
| ８ | ７／１２ | ◇学習アンケートの結果と考察①  ◇Ｑ－Ｕ検査の結果と対応策① | 研究主任 |  |
| ９ | ８／１７ | ◇教育課程の還流報告  ◇特別支援に関わる学習会 | 研究主任  松井校長  大村教諭 |  |
| １０ | ９／ ６ | ◇指導案検討① | 授業者 |  |
| １１ | １０／　４ | ◇指導案検討② | 授業者 |  |
| １２ | １０／１８ | ◇研究授業 | 授業者  研究主任 | ○ |
| １３ | １１／　８ | ◇K－１３法を用いた分析（Ⅱ） | 各学年 |  |
| １４ | １２／　６ | ◇学習アンケート（２回目）の実施について  ◇Ｑ－Ｕ検査の結果と対応策②  ◇研究紀要作成・研究のまとめについて | 研究主任 |  |
| １５ | １／３１ | ◇学習アンケートの結果と考察②  ◇研究の成果と課題、来年度の方向性について | 研究主任 |  |
| １６ | ２／２１ | ◇研究の成果と課題、来年度の方向性 | 研究主任 |  |  |
|  |  |
| １７ | ３／　６ | ◇研究紀要作成 | 研究主任 |  |  |
|  |  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（研究主任　金井　京子）